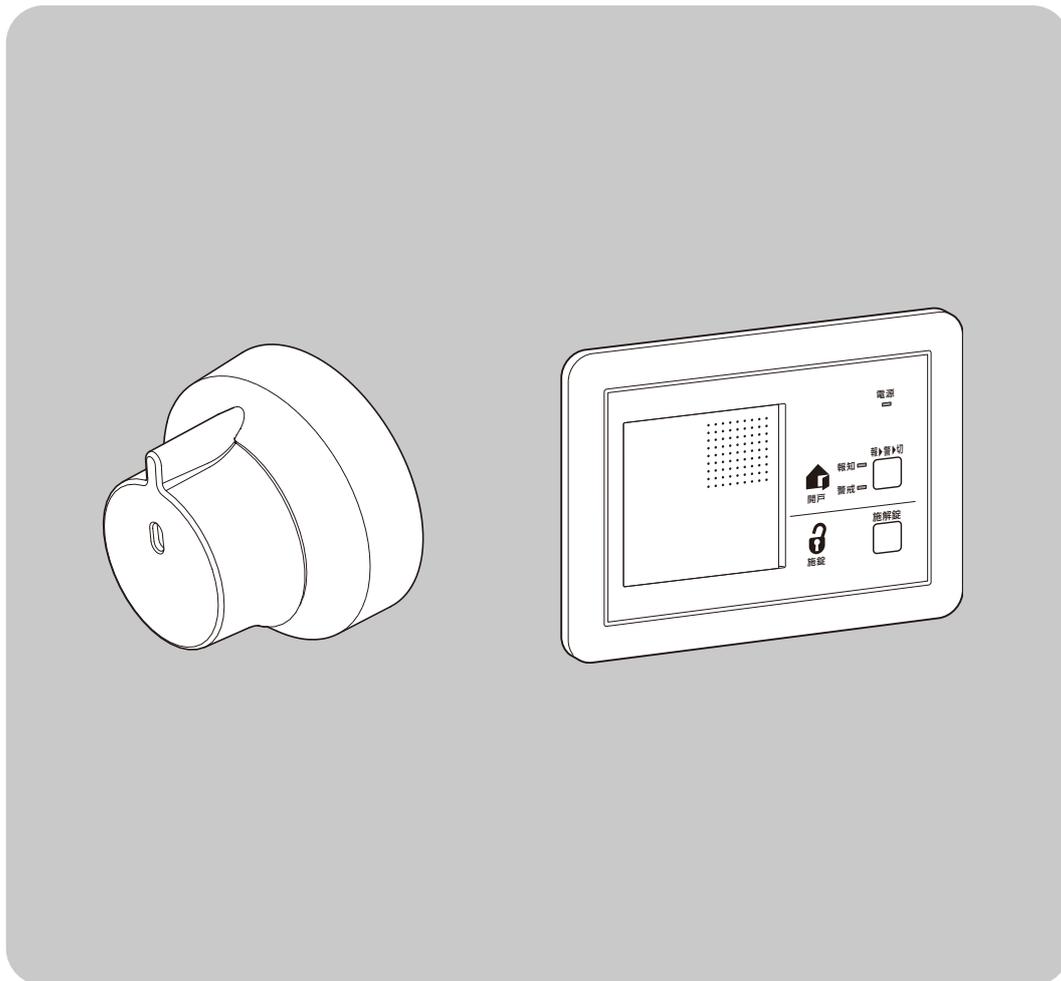


システムキー

取付け説明書



取付け作業にあたって

- この説明書では、お客さまの安全と製品を正しく取付けしていただくにあたり、重要な内容を記載しております。ご留意いただき、作業してください。

目次

	ページ
■取付けされる方へのお願い 機器の設置で注意して頂きたいこと	1
■システム構成と作業手順	
取付け部品一覧	
電気錠取付け手順	2
システム図（例）	
機器の接続可能距離	
梱包内容	3
■ドア枠への部品取付け	
①マグネットの取付け	
②送電ユニットの取付けと躯体 内配線コード（10m）の接続	4
■ドア本体への部品取付け	
①電動サムターンの取付け	
②室外側化粧プレートの取付け	5
③室内側化粧プレートの取付け	
■ストライク調整	6
■機器の取付け、配線工事	
コントローラーユニットの取付け	7
配線工事方法	8・9
■コントローラーユニットの設定 と動作確認	
①初期登録の方法	10
②動作確認方法	
③その他の設定	11
■総合動作確認	
リモコンキーの登録	12
ドアのブザー音と表示について	13
コントローラーユニットのブ ザー音と表示について	14・15
リモコンキーのランプ表示につ いて	
■商品仕様	16

取付けされる方へのお願い

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

⚠ 警告 …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 警告

- 電気工事は、電気工事士の有資格者が行なってください。法令、規定及び取付け説明書にしたがわず誤った工事を行なうと事故や故障につながります。
- AC100V 用電源線は指定の箇所に指定の方法通りに差込んでください。差込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や破損につながります。
- コントローラユニットなど AC100V を直接接続する機器の取付けは、電源 (AC100V) を切った状態で行なってください。感電の原因になります。

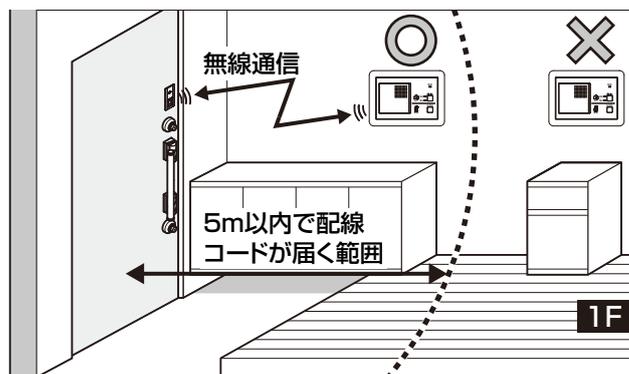
■機器の設置で注意して頂きたいこと

●玄関ドアとコントローラユニットは電波により、無線通信を行っております。コントローラユニットの設置は、次の条件を全て満たす場所にしてください。

- ①玄関ドアの室内リーダーから 5 m 以内
- ②付属の配線コード (10m) が届く範囲
- ③玄関ドアが見通せる場所

●次のような設置場所は避けてください。故障や感電の原因になります。

- ・水や雨のかかる場所や直接湯気がかかる場所、湿気の多い場所
- ・極端に寒い場所・暑い場所 (冷暖房の近くや直射日光の当る場所)



※配線コードは、ドアへの電源供給に利用し、ドアの状態表示などの各種通信は電波による無線通信で行っています。この為、コントローラユニットとドアの間に電波を通し難い壁などがあると通信がうまくできず、ドアの状態表示が実際と異なるなどの動作不良の原因になります。

●ガラス窓の近くには設置しないでください。ガラスを破られ、施錠ボタンから解錠されるおそれがあります。

●下記のような使用環境では、電波 (ノイズ) を受けるなどにより、正しく作動しないことがありますので注意してください。

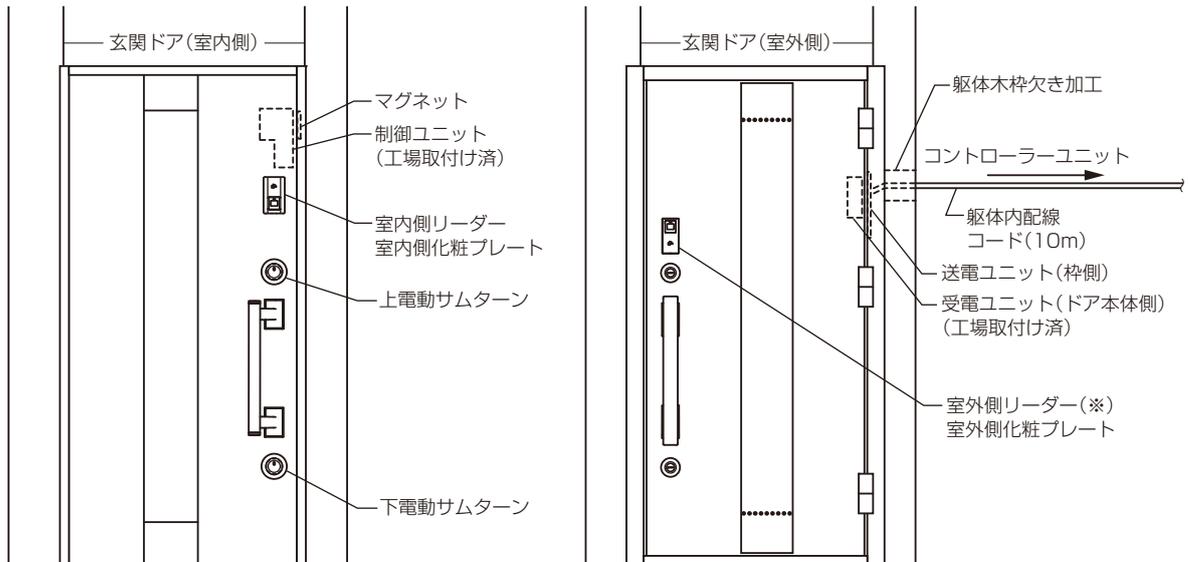
- ・コントローラユニットと玄関ドア間に金属や鉄筋コンクリート、断熱材にアルミ箔を張付けた物など電波を通しにくい障壁がある。
- ・機器の周辺が金属物で囲まれている。(スチールキャビネットの間など)
- ・金属物の壁面に機器を取付けている。
- ・機器の近くに LED 照明やテレビ、パワーコンディショナーなど電波ノイズを出す家電製品や無線通信式の電化製品がある場合。
- ・機器の近く (10m 以内) で、マイクロ波治療器を使用している。
- ・近くに、テレビ、ラジオの送信所近辺の強電界地域または各種無線局がある。

●リモコンキーの取扱いについては以下の点にご注意ください。

- (1) 落下などによる衝撃や強い力を加えないでください。壊れるおそれがあります。
- (2) 水の中に落とす、流水をかけるなどは行わないでください。
- (3) 車内など高温になる場所で保管しないでください。
- (4) 電源 ON 状態のリモコンキーをテレビやパソコンなど電磁波を発する機器の近くや 135kHz 帯の電波を利用している機器 (玄関ドアを含む) の周辺には置かないでください。電池寿命が短くなります。

システム構成と作業手順

■取付け部品一覧



※S型ハンドルの場合、本説明書に記載されている絵と異なる箇所がありますが、手順・要領は同じです。
(室外側リーダーがハンドルに内蔵されています)

■電気錠取付け手順

●電気錠の取付け手順の一例と本紙に記載している内容を以下にまとめてあります。
作業区分がサッシ工事と電気工事に分かりますので作業に抜けやモレが無きように進めてください。

サッシ工事区分

ドア枠の組立て、部品の取付け

- ①マグネットの取付け → (P.4)
- ②送電ユニットの取付けと躯体内配線コード(10m)の接続 → (P.4)

ドア本体へ部品の取付け

- ①電動サムターンの取付け → (P.5)
- ②室外側化粧プレートの取付け(※1) → (P.5)
- ③室内側化粧プレートの取付け → (P.6)

躯体へのドアの取付け、建付け調整

- 躯体木枠への配線用切り欠き加工(※2) → 『枠の取付説明書』
- ストライクの調整 → (P.6)

電気工事区分

機器の取付け、配線工事

- コントローラーユニットの取付け → (P.7)
- 配線工事方法 → (P.8・9)

コントローラーユニットの設定と動作確認

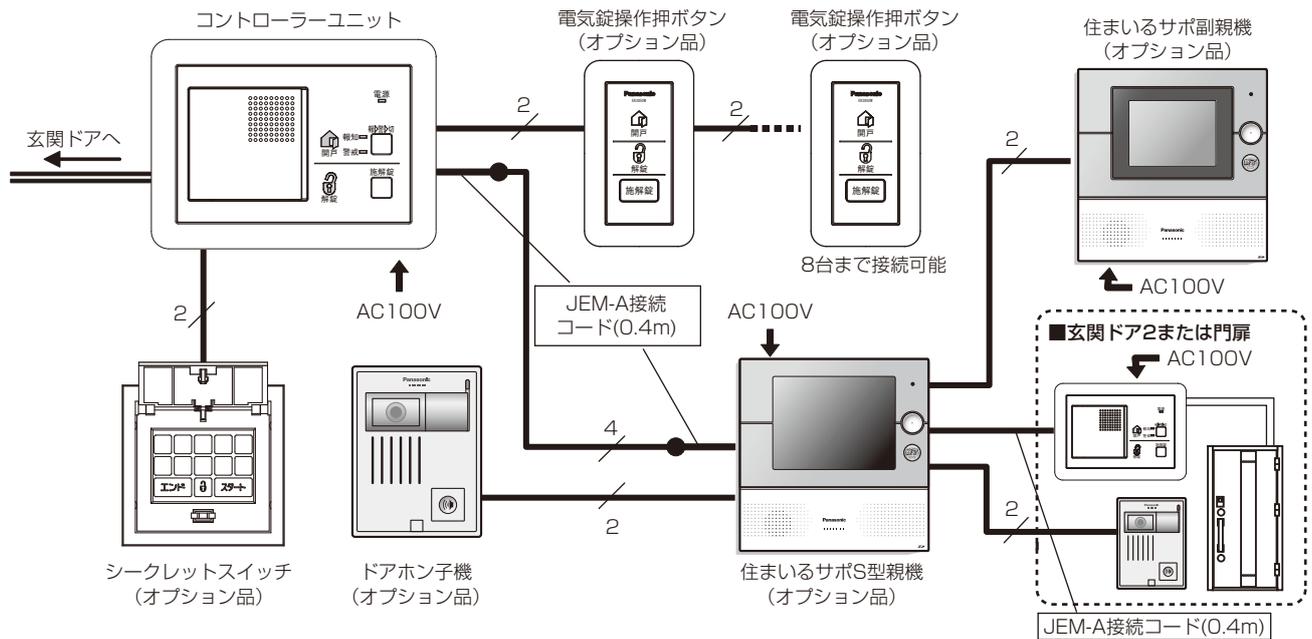
- ①初期登録の方法 → (P.10)
- ②動作確認方法 → (P.11)
- ③その他の設定 → (P.11)

総合動作確認

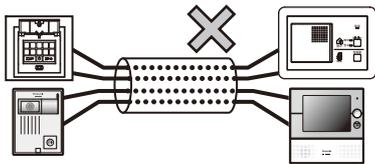
- 動作確認 → (P.12)
- リモコンキーの登録 → (P.12)

※1) S型ハンドルの場合、室外側化粧プレートを取付ける作業は不要です。
※2) 本紙には「躯体木枠への配線用切り欠き加工」についての記載がありません。
ドア枠に同梱されている『枠取付け説明書』を参考に作業を行なってください。(大工工事も含まれます)

■システム図 (例)



※ 複数の機器間の配線ケーブルを同一シースで配線しないでください。

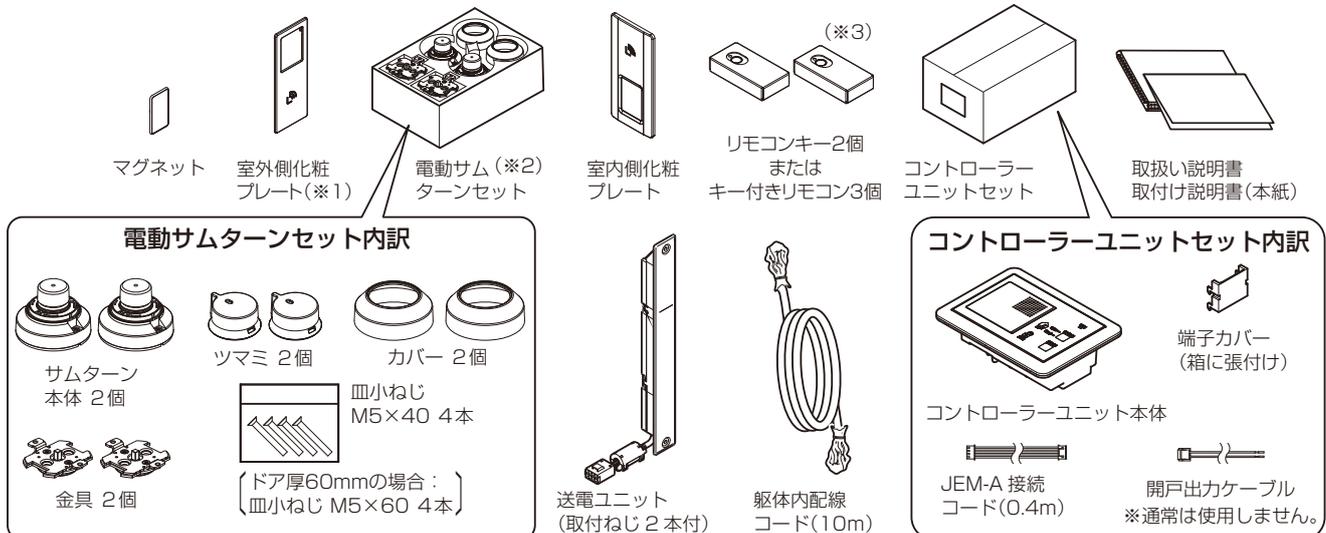


■機器の接続可能距離

配線区間	使用電線	
	φ 0.65mm または 0.5mm ²	φ 0.9mm または 0.75mm ²
コントローラーユニット～ドアホン (指定機種以外)	2 m	
コントローラーユニット～住まいるサポ親機	50m	
コントローラーユニット～電気錠操作押ボタン	50m	
コントローラーユニット～シークレットスイッチ	50m	
住まいるサポ親機～ドアホン子機	50m	100m
住まいるサポ親機～副親機	100m	
コントローラーユニット～玄関ドア	躯体内配線コード (10m) 使用	

- ※ 付属の配線コード以外の配線ケーブルは、AE線などの平行ポリエチレン絶縁ビニール被ふくケーブルを必ずお使いください。
- ※ 配線ケーブルと AC100V 配線が接触しないように施工してください。
- ※ 接続機器については、各器機に付属の説明書をお読みください。
- ※ コントローラーユニットと接続できるドアホン(指定機種以外)は『JEMA標準HA端子』を搭載し、「電気錠対応」になっている機種のみです。

■梱包内容 (エントリーセット)

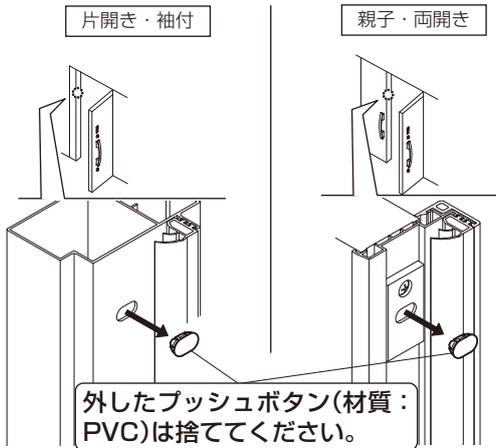


- ※1) S型ハンドルの場合、室外側化粧プレートは同梱されていません。
- ※2) サムターンデザインの異なる場合があります。
- ※3) キー付きリモコン仕様は3個入りになります。それ以外の通常仕様は2個入りです。キー付きリモコン用の非常用キー(●)は、シリンダーセットに同梱されています。

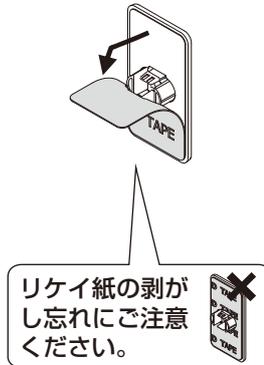
ドア枠への部品取付け

①マグネットの取付け

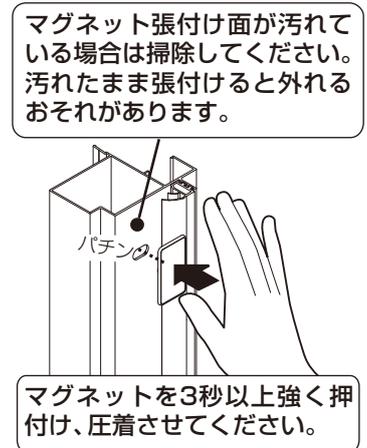
①-1 プッシュボタンを外します。



①-2 マグネットのリケイ紙を剥します。



①-3 マグネットを張付けます。

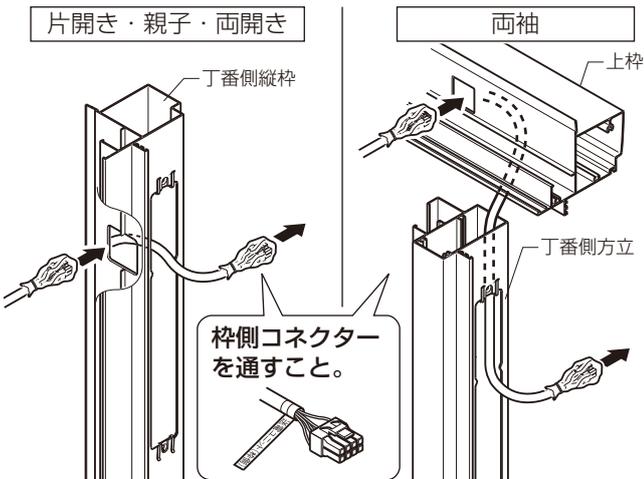


※一度張付けたマグネットは、取り外しても再利用できませんのでご注意ください。

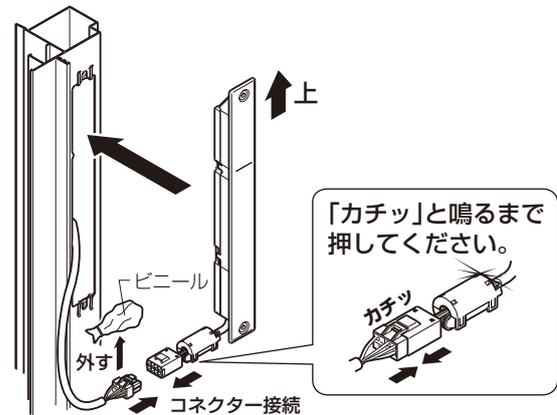
②送電ユニットの取付けと躯体内配線コード（10m）の接続

●電動ドライバーは使用しないでください。高トルクの為、部品が破損し不具合につながるおそれがあります。

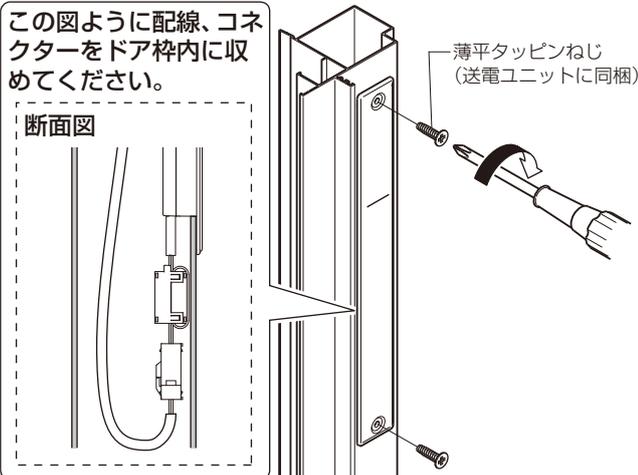
②-1 躯体内配線コードをドア枠内に通します。



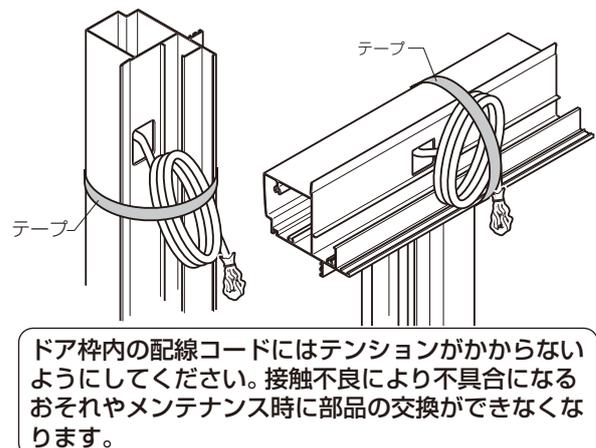
②-2 送電ユニットに躯体内配線コードを接続し、枠に付けます。



②-3 送電ユニットをねじで固定します。
※ねじの締付けトルク(推奨)：1.0N・m{10kgf・cm}



②-4 躯体内配線コードをテープなどで枠に固定しておきます。

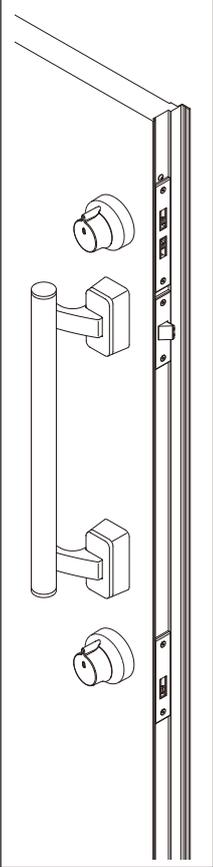


ドア本体への部品取付け

① 電動サムターンの取付け

- サムターンは2個とも同じ部品で取付け方法も同じです。
 - 電動ドライバーは使用しないでください。高トルクの為、部品が破損し不具合につながるおそれがあります。
- ※ねじの締付けトルク(推奨)：1.2N・m {12kgf・cm}

完成図



①-1 コネクタを引出してからシリンダーと金具を皿小ねじで固定します。

シリンダー
箱錠

※箱錠は事前に取付けてください。
※ハーネスのはさみ込みにご注意ください。

①-2 コネクタを接続します。

「カチッ」と鳴るまで挿してください。

カチッ
カチッ

①-3 サムターン本体を金具にはめ込みます。(解錠状態で取付けること)

右吊[R]の場合

この向きで取り付ける

左吊[L]の場合

この向きで取り付ける

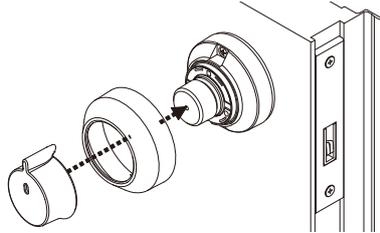
サムターンの軸をラベルの向きに合わせてください。間違えるとサムターンが回りません。合わせた後はジョイントリングを動かさないでください。軸の向きが連動して変わります。

ラベル
軸
ジョイントリング

①-4 サムターン本体をねじで固定します。

ねじ

①-5 カバーをはめてからつまみを付けます。



●つまみの外し方

ボタンを押しながら引張ります。



■メンテナンス時の対応

[カバーの外し方]

図のように持ち、ひねるように引張ると外れます。



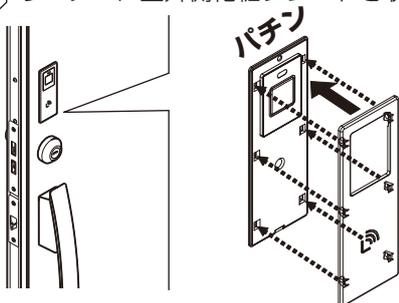
●取り扱い上のお願い事項

本製品は精密機器になります。電動サムターンなどの構成部品には、衝撃や強い力を加えないでください。破損の原因になります。



② 室外側化粧プレートの取付け

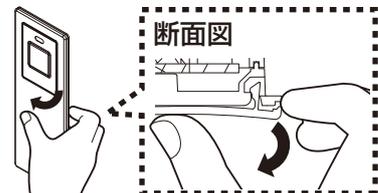
② リーダーに室外側化粧プレートを取付けます。(※S型ハンドルの場合、この作業は不要です。)



■メンテナンス時の対応

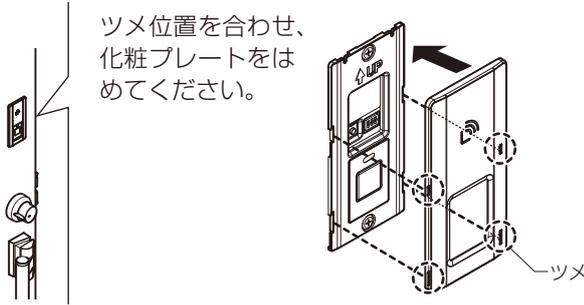
[化粧プレートの外し方]

図のように中央を押しながらかから外してください。別の外し方をするとプレートが破損するおそれがあります。



③室内側化粧プレートの取付け

③ リーダーに室内側化粧プレートを取付けます。



化粧プレートの周囲にスキマが無いように付け、下にスライドさせてください。



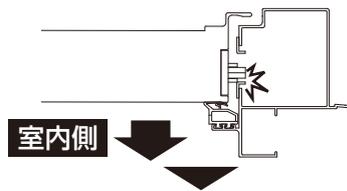
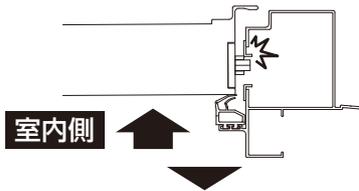
ストライクの調整

本製品は電気で自動的に施解錠する為、どのような状態でもサムターンがスムーズに回る必要があります。そこで一連の建付け調整実施後、下記内容の確認も行い、問題があればストライクの調整を実施してください。



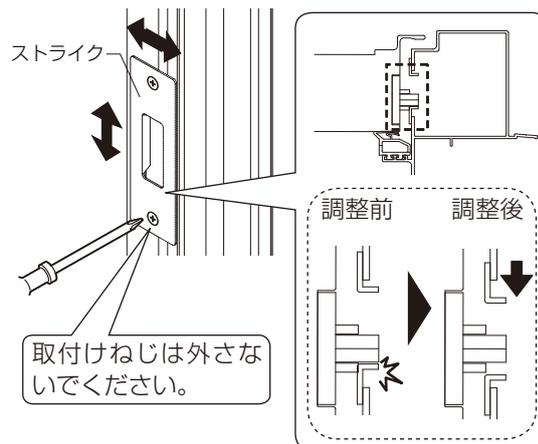
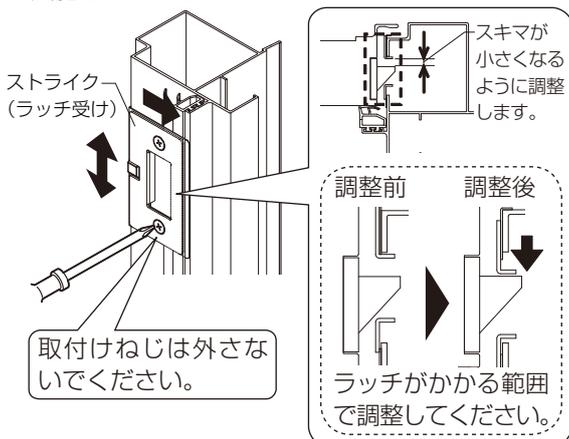
1) ドアを押しながらサムターンを回した際に、デッドボルトがストライクに引っかかりスムーズな操作が出来ない。

2) ドアを引張りながらサムターンを回した際にデッドボルトが引っかかりスムーズに操作が出来ない。



ストライク(ラッチ受け)の固定ねじを2本とも緩め、ラッチのガタツキが少なくなるようにラッチ受けの位置を調整し、ねじを締め固定します。それでも改善されない場合はストライクの調整も実施してください。

ストライク固定ねじを2本とも緩め、デッドボルトがストライクに接触しないように位置を調整し、ねじを締め固定します。



※ ドアに熱反りや経年変化が起こってもラッチがかかるようにラッチのガタツキはある程度必要になります。特にドアに直射日光が当たる環境の場合は、熱反りでラッチがかかり難くなることも考慮して調整してください。

機器の取付け、配線工事

機器の取付け、配線工事するには電気工事士の資格が必要です。

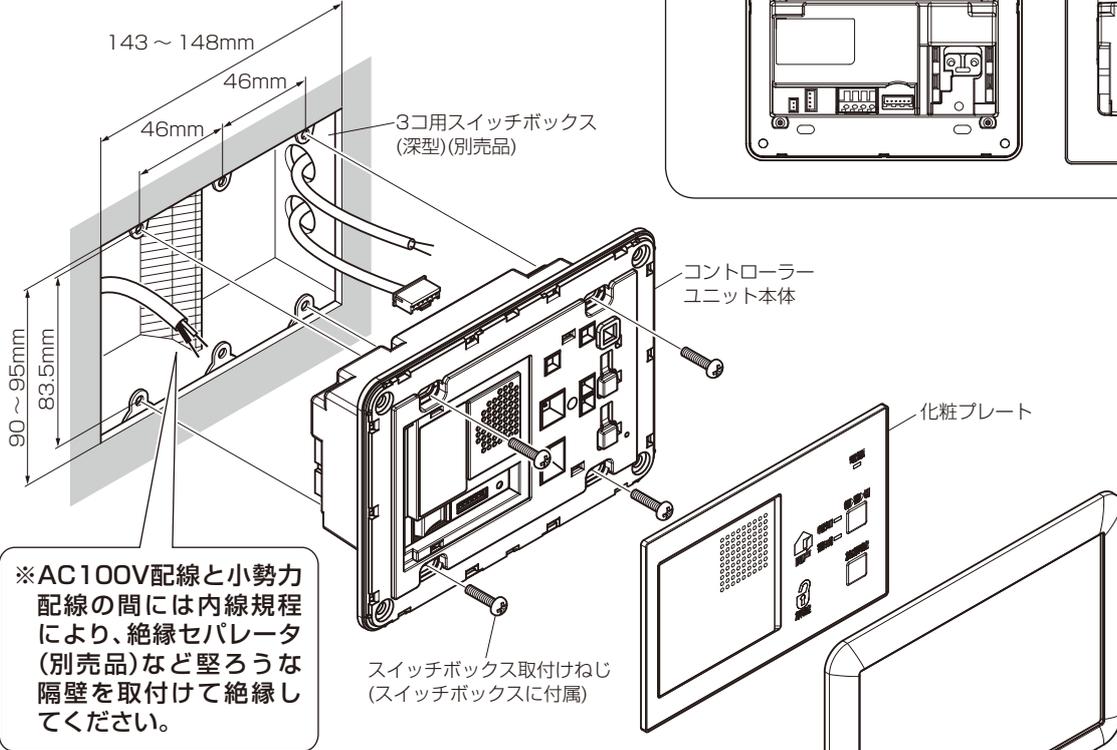
■コントローラーユニットの取付け

●コントローラーの取付けは、『(P.1)機器の設置で注意して頂きたいこと』を守って以下の通り、設置してください。

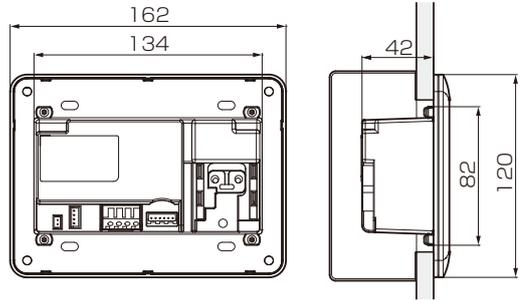
1 ボックス取付けの場合

●プレート、化粧プレートをコントローラーユニットから一旦外し、P.8・9『■配線工事方法』と下の図を参考に取付けを行ってください。

※ねじの締付けトルク(推奨) : 0.6N・m {6kgf・cm}



■コントローラーユニット詳細寸法



2 ボックスなし取付けの場合

●取付けの際は次の内容をお守りください。

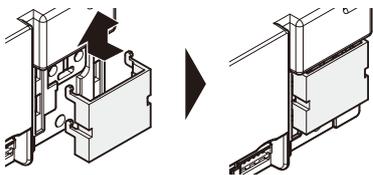
- 1) パネル壁の奥行きが47mm以上の場所に付けてください。
- 2) AC100V配線と小勢力配線が接触しないように取付けてください。
- 3) 壁に埋込む商品ですので、商品埋込み深さおよび配線スペースに注意してください。
- 4) 端子カバーを取付けてください(詳細は下記「端子カバーについて」を参照ください。)
- 5) 下記、はさみ金具(別売品)を使用してください。

端子カバーについて

AC100V端子にグラスウールなどが接触するときは、内線規定により、端子カバーを取付けてください。

■端子カバーの付け方

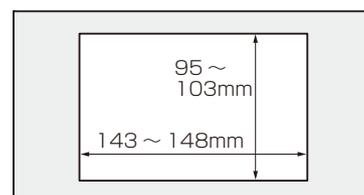
ツメをミゾ(4カ所)に差込み、上へあげます。
(外すときは、逆の手順になります。)



■適用はさみ金具(別売品)

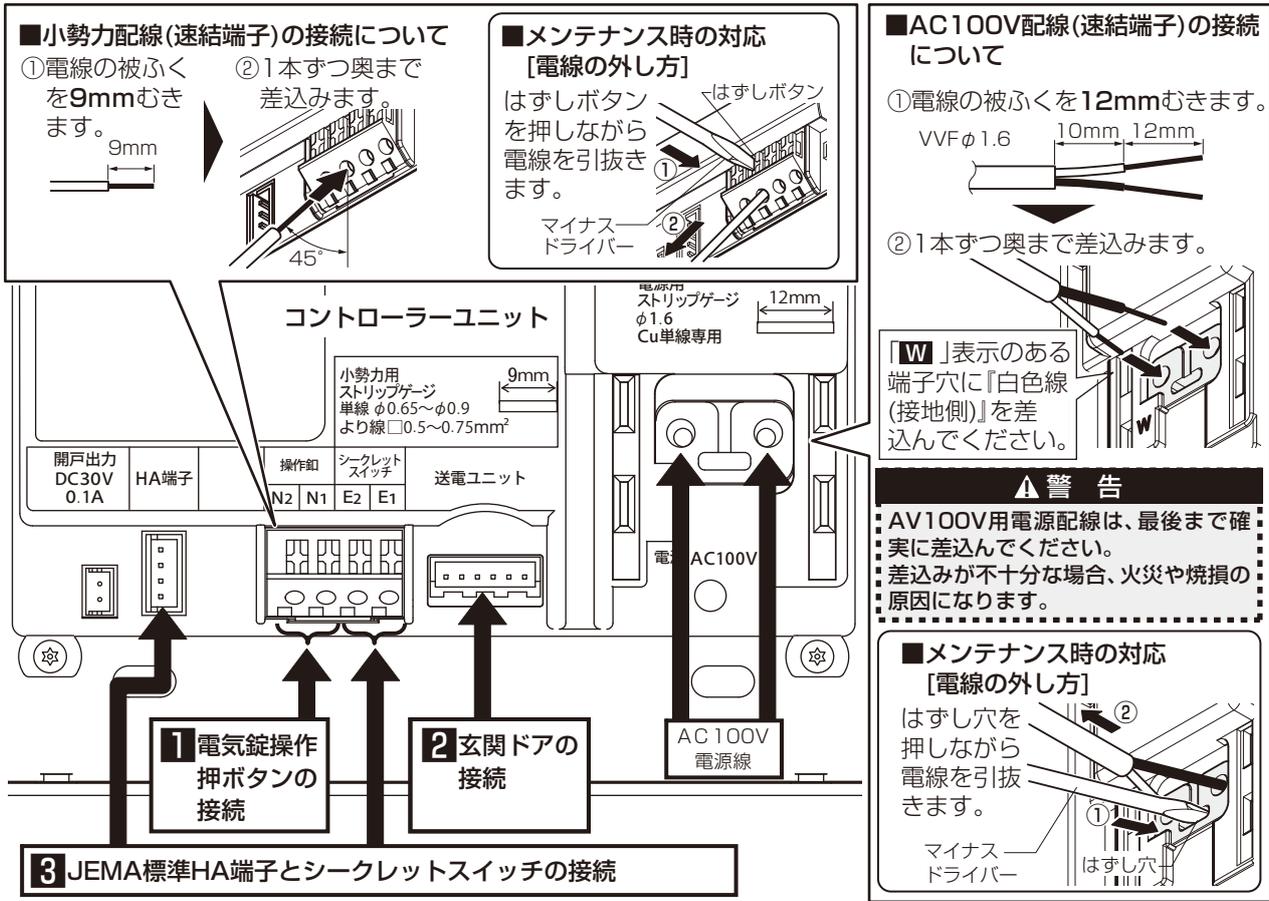
対象壁	パナソニック(株)製はさみ金具品番
9~30mm厚の石膏ボードまたは合板	WN3998

■壁の穴あけ寸法

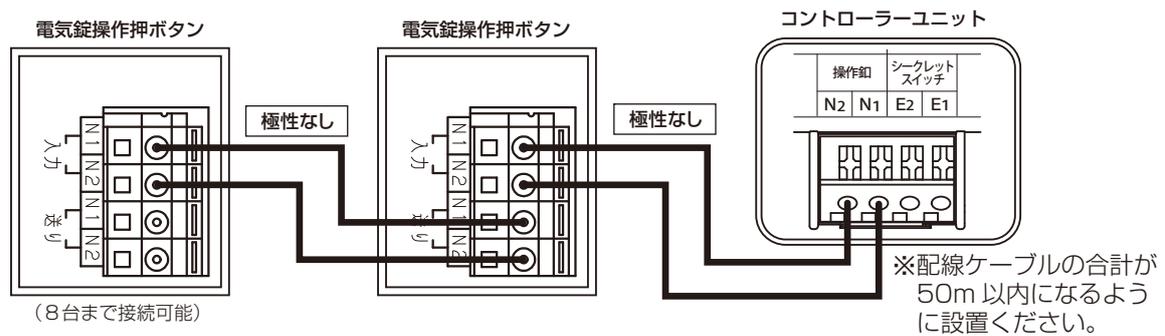


その他オプション品の取付けは、各器機に付属されている説明書に添って作業を行なってください。

■配線工事方法

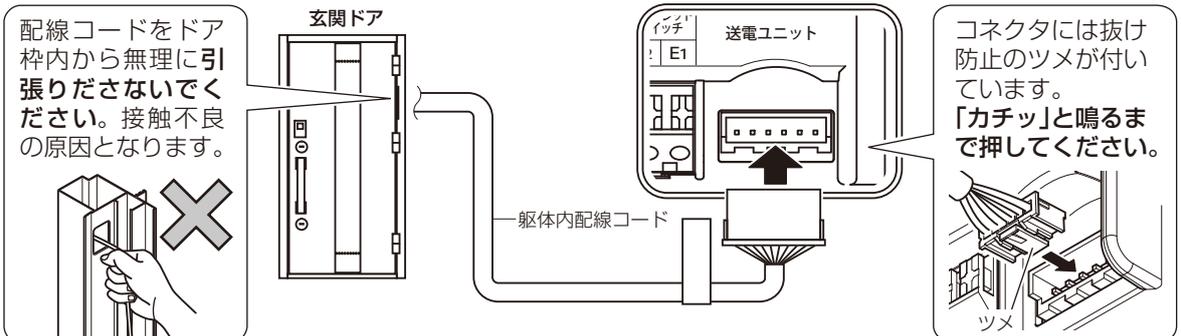


1 電気錠操作押ボタン (オプション品) の接続



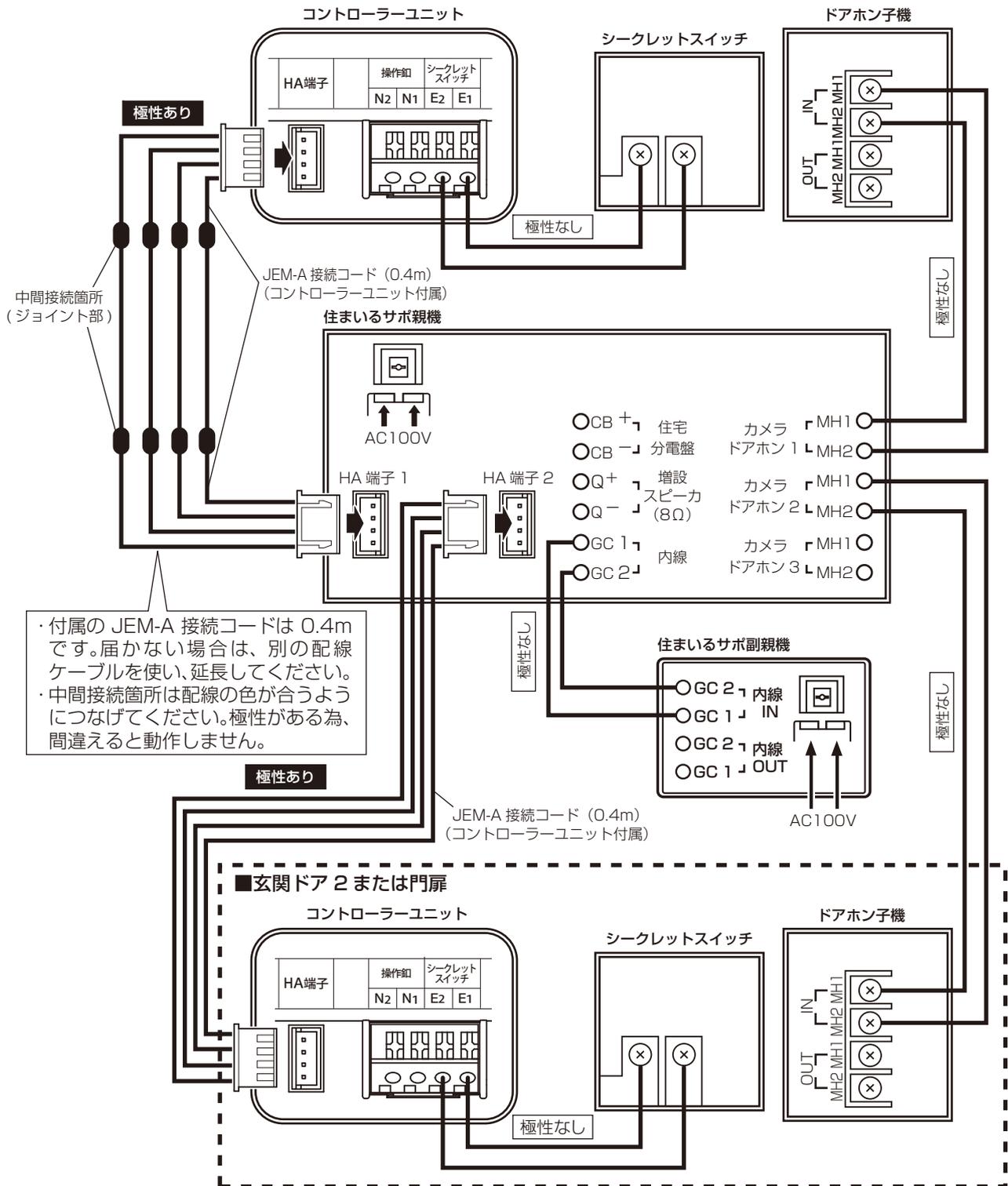
2 玄関ドアの接続

●玄関ドアから5m以内でかつ、躯体内配線コードが届く範囲にコントローラーユニットを取付けてください。(躯体内配線コードの延長は出来ません。)



3 HA 端子 (JEM-A 接続コード)・シーケツトスイッチ (オプション品) の接続

- ○端子は速結端子、⊗端子はねじ端子を示しています。
- オプション品の中には、施工設定(終端スイッチなど)が必要な物もあります。各機器に付属の説明書を参照ください。

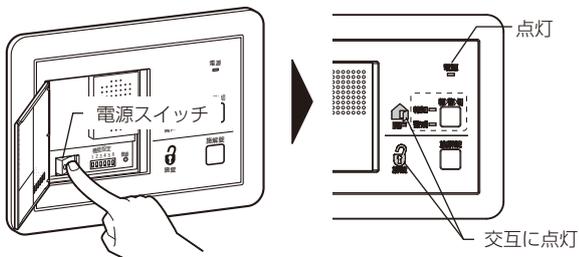


コントローラーユニットの設定と動作確認

①初期登録の方法

- 始めに玄関ドアにコントローラーユニットを登録する必要があります。次の手順で登録を行なってください。
登録前のコントローラーユニットからは操作ができず、表示も正しく点灯しません。
- ※手順通りに登録できない場合やエラー音、エラー表示が点く場合は、P.13、14を参考に対処してください。
- ※動作確認後は、必ず電源を切ってください。意図せず施錠させてしまい、しめ出されるなどのおそれがあります。

- ①-1 コントローラーユニットの電源を入れます。
電源表示が点灯し、開戸表示と解錠表示が交互に点灯します。



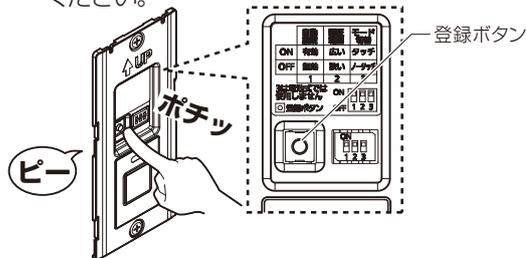
- ①-2 ドアを閉め、施錠します。



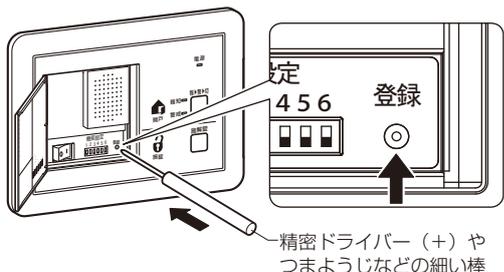
- ①-3 室内側のリーダーから化粧プレートを外します。



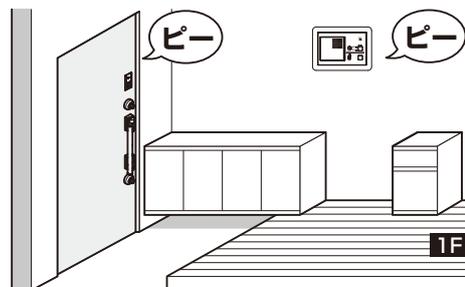
- ①-4 『ピー』音が鳴るまで登録ボタンを押します。
※『ピ』音が8回鳴る場合はドアを閉め、施錠してください。



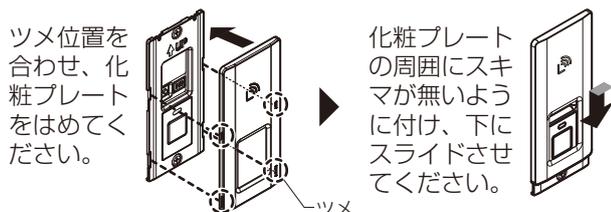
- ①-5 『ピッ』音が鳴るまでコントローラーユニットの登録ボタンを押します。
※[①-4]で登録ボタンを押してから30秒経つと時間切れで終了になります。



- ①-6 玄関ドアとコントローラーユニットから『ピー』音が鳴り、登録が終了します。

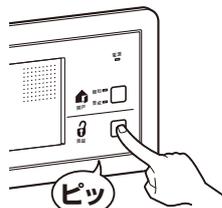


- ①-7 化粧プレートを元に戻します。



■お知らせ

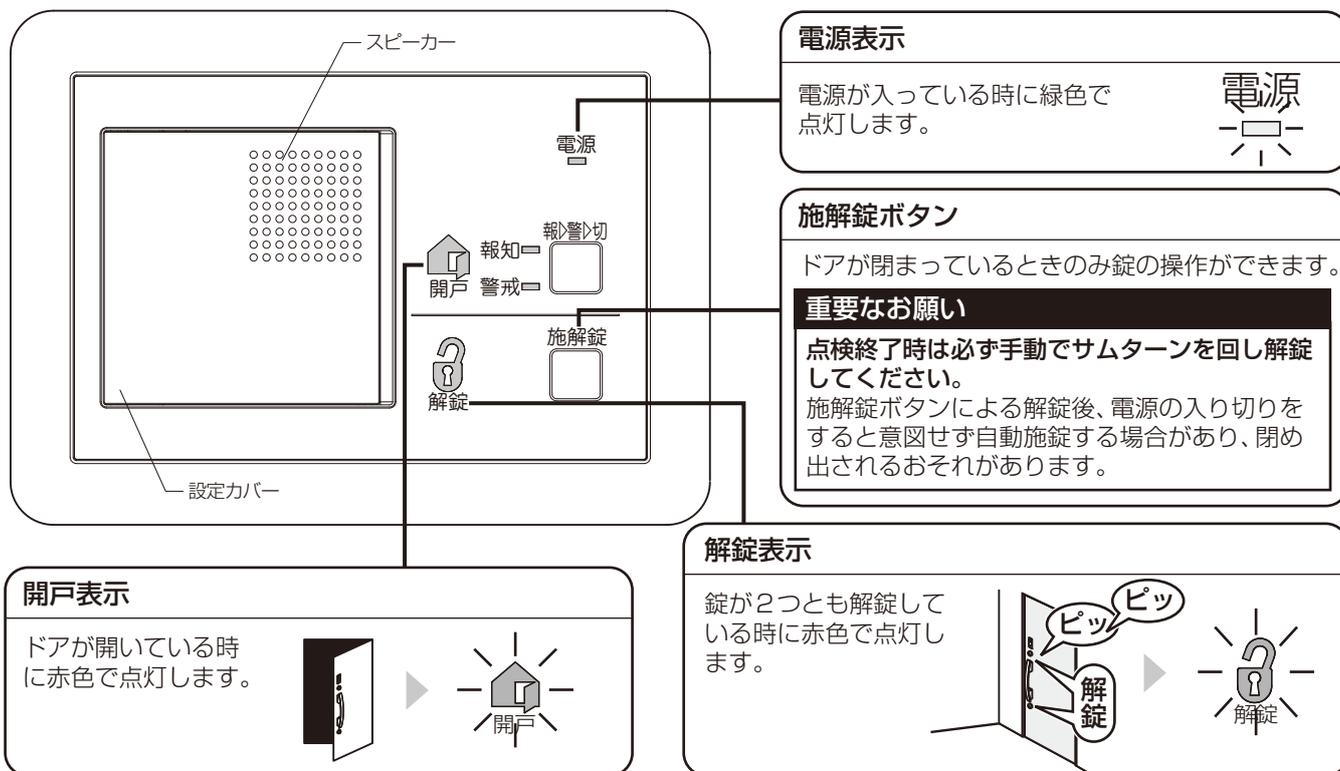
リモコンキーが未登録の場合、自動施錠切替スイッチは無効となり、切替えスイッチのON/OFFに関わらず常に自動施錠OFFになります。



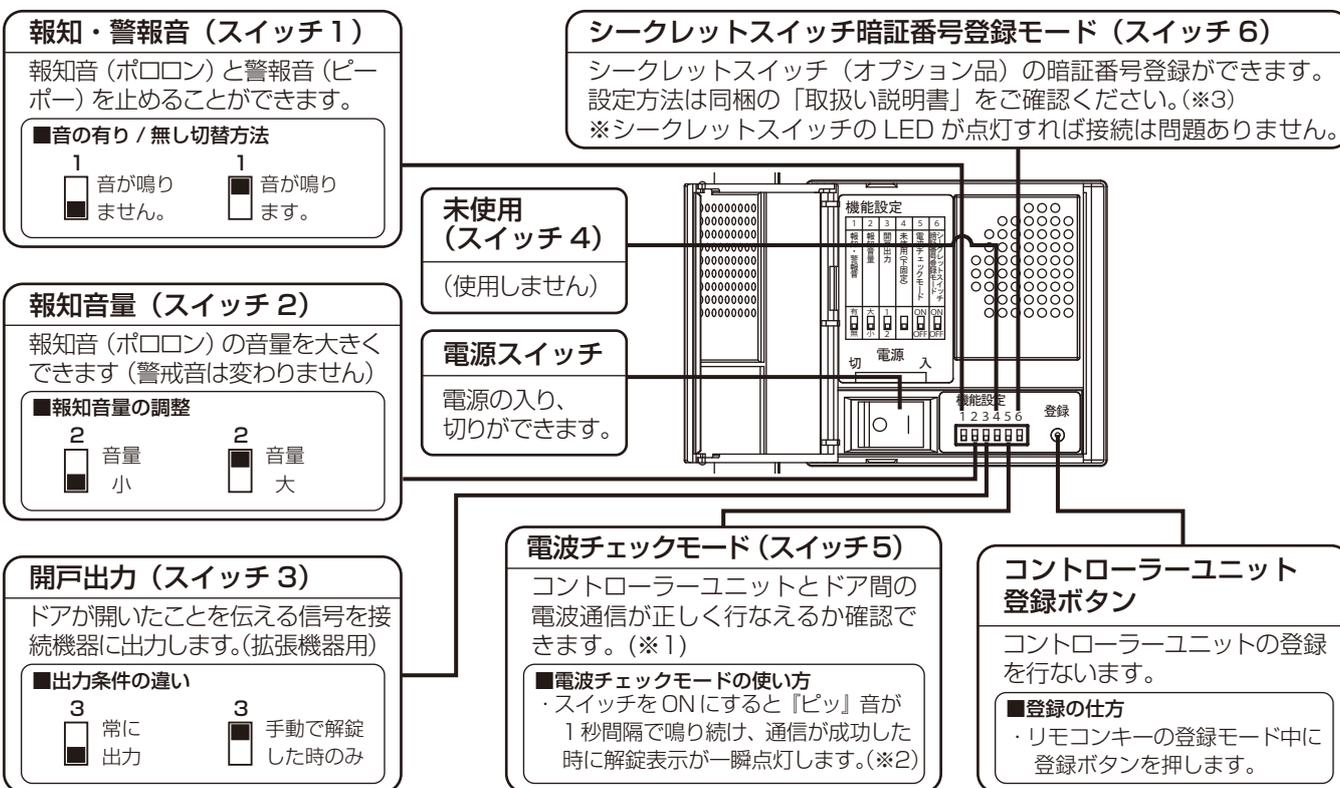
リモコンキーを一度も登録していない場合、コントローラーユニットから解錠した後、ドアを開閉しても自動施錠しません。

②動作確認方法

- ドアの状態に合わせて表示が点灯するか確認ください。
 - ドアを閉め、開戸表示が消えている状態で施解錠ボタンを押して錠の操作ができるか確認ください。
- ※エラー音、エラー表示が点く場合は、P.13、14を参考に対処してください。



③その他の設定



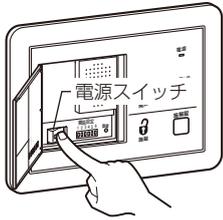
※1) 電波の到達距離が短くなる環境 (P.1参照) の場合は、設置前に仮置きで「電波チェック」を実施する事をおすすめします。
 ※2) ドアとの無線通信は、施解錠した時など、ドアの状態が変化した時のみ行っています。
 ※3) 防犯の為、お施主様引渡し後、速やかにシークレットスイッチの暗証番号を登録してください。

その他オプション品の設定、動作確認方法は、各器機に付属されている説明書に添って行なってください。

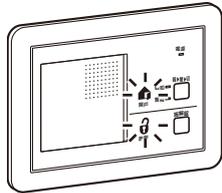
総合動作確認

●作業が終了しましたら、次の手順で動作確認を行ってください。

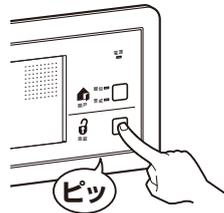
①コントローラーユニットの電源を入れます。



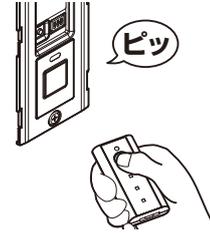
②開戸表示と解錠表示が正しく点灯、消灯するか確認します。
→(P.14・15)



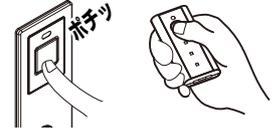
③施解錠ボタンを押し、施解錠できるか確認します。



④リモコンキーを下記、手順で玄関ドアに登録します。



⑤リモコンキーから操作し、正しく動作するか確認します。
(詳しい操作方法は同梱の『取扱説明書』を確認ください)

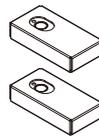


■リモコンキーの登録

※キー付きリモコンも同様です。

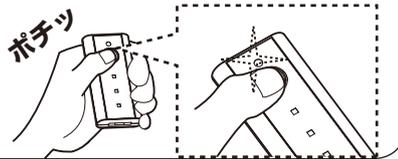
① 同梱のリモコンキーは未登録です。

箱に入ったままでも電源のON/OFFや登録ができます。動作確認を行なう際はそのまま登録を実施してください。
※電源OFFで出荷されています。リモコンキーのボタン長押し(約3秒以上)で電源をONにしてください。

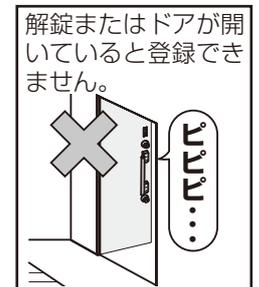


■お知らせ

リモコンの電源ON/OFF時にはランプが緑色に点灯します。
ランプ点滅 1回→ON
ランプ点滅 5回→OFF

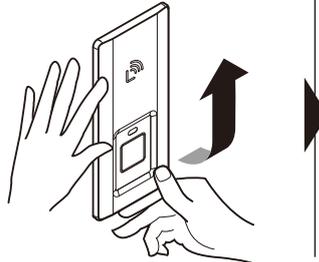


ドアを閉め、施錠します。

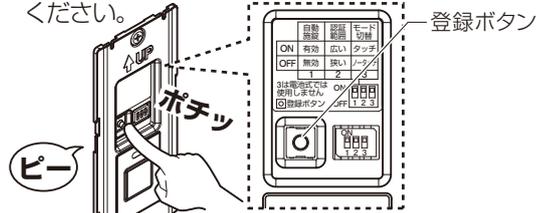


② 室内側のリーダーから化粧プレートを外します。

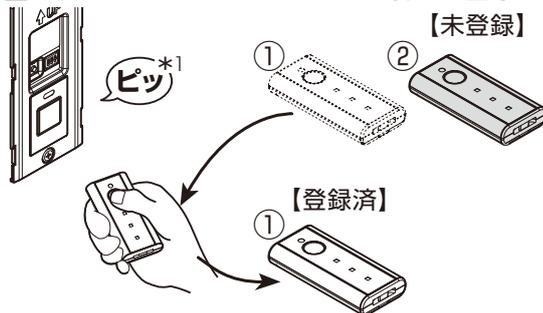
化粧プレートが落ちないように支えてください。そのまま図の通りに下から押し上げ、上へスライドさせてください。



『ピー』音が鳴るまで登録ボタンを押します。
※『ピ』音が8回鳴る場合はドアを閉め、施錠してください。



③ 1個ずつリモコンキーのボタンを押し、登録します。

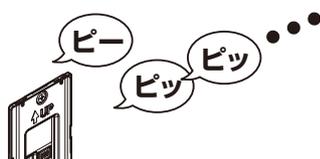


*1) 登録の都度、登録済み個数分だけ『ピ』音が鳴ります。
(例：1個目『ピッ』、2個目『ピッ、ピッ』)

■お知らせ

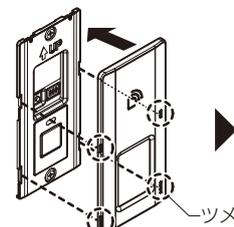
- ・電気錠操作では上下2ロックになりますがコンスキーで操作できるのは上シリンダーのみになります。
- ・新たに1個でも登録するとそれまでの登録データが全て消去されるため、今まで登録されていたリモコンキーも再登録しない限り使用できません。
- ・1台のドアにリモコンキーは最大10個まで登録できます。
- ・ドアを解錠するか、10個目のリモコンキーを登録するとすぐに登録終了(④)になります。
- ・1つのリモコンキーを複数のドアに登録する事が出来ます。(数の制限はありません。)

④ 30秒ほど待つと登録が終了し、『ピー』音の後、登録個数分『ピッ』音が鳴ります。



化粧プレートを元に戻します。

ツメ位置を合わせ、化粧プレートをはめてください。



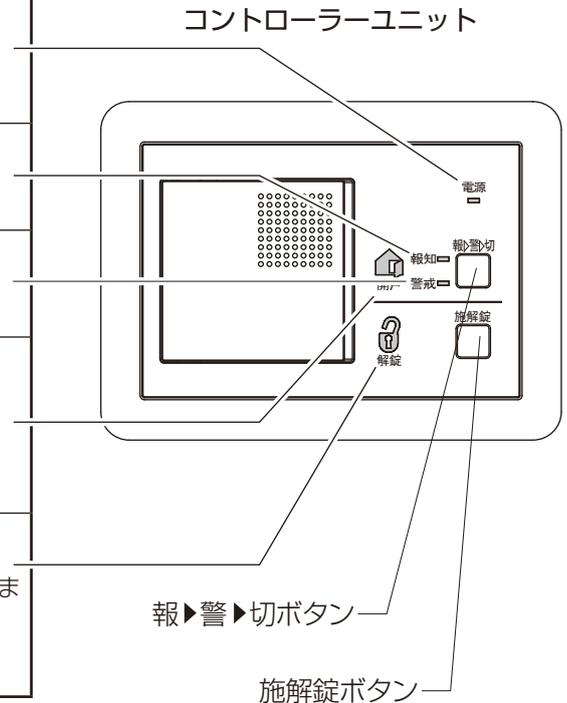
化粧プレートの周囲にスキマが無いように付け、下にスライドさせてください。



■コントローラーユニットのブザー音と表示について

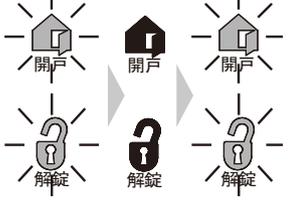
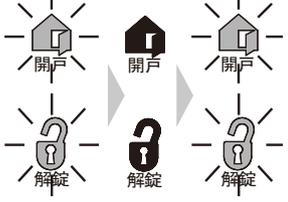
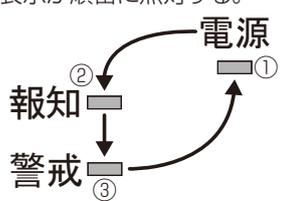
正常時のブザー音、リーダーの表示について

表示内容	お知らせ内容
電源表示が緑色で点灯 電源 	電源が入ってます。
報知表示が緑色で点灯 報知 	報知設定になっています。
警戒表示が赤色で点灯 警戒 	警戒設定になっています。
開戸表示が赤色で点灯  開戸	ドアが開いています。
解錠表示が赤色で点灯  解錠	カギが上下2つとも解錠しています。



ブザー音	表示内容	お知らせ内容	対処方法
ピッ		施解錠ボタンが押されました。	
ピッ、ピッ、……		・暗証番号登録モード中です。 ・電波チェックモード中です。	
ピー		暗証番号登録ができました。	
ポロン、ポロン … ※初期設定では音は鳴りません。	報知表示が緑色で点灯中に 開戸表示が赤色の点灯  報知 	ドアが開けられました。	ドアを閉めてください。
ピーポー、ピーポー … ※初期設定では音は鳴りません。	警戒表示が赤色で点滅 警戒  ▶ 	こじ開けもしくは、サムターン、キー (●) で解錠されました。	報▶警▶切ボタンを押して止めてください。

異常時のブザー音、リーダーの表示について

ブザー音	表示内容	お知らせ内容	対処方法
—	<p>開戸表示と解錠表示が交互に点灯する。</p> 	<p>コントローラーユニットが玄関ドアに登録されていません。</p>	<p>登録してください。 → (P.10)</p>
電源投入時に『ピー、ピッピッピ』音が一度だけ鳴る。	<p>開戸表示と解錠表示が赤色で同時に点滅</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 躯体内配線コードが接続されていません。 ・ 躯体内配線コードが断線しています。 	<p>【電気工事区分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コントローラーユニットのコネクタを一旦外し、接続し直してください。→ (P.8) ・ 躯体内配線の断線箇所を確認し修理してください。 <p>【サッシ工事区分】</p> <p>送電ユニットのコネクタを一旦外し、接続し直してください。 → (P.4)</p>
『ピー、ピッピッピ』音が繰り返し鳴る。		<p>ドア本体と枠の間（丁番側）に異物が挟まっています。</p>	<p>異物を取除いてください。</p>
—	<p>電源表示→報知表示→警戒表示が順番に点灯する。</p> 	<p>躯体内配線コードが短絡しています。</p>	<p>【電気工事区分】</p> <p>躯体内配線の短絡箇所を確認し修理してください。</p>
『ピッ』音が 10 回鳴る。	—	<p>電波による通信ができず、登録エラーが起きました。</p>	<p>『(P.1) 器機の設置で注意して頂きたいこと』を参照し、原因を解消してください。</p>
—	<p>開戸表示と解錠表示、報知表示、警戒表示が同時に点滅する。</p>	<p>電波による通信が 24 時間途切れました。</p> <p>①ドア側の器機の故障 ②電波通信を妨害するノイズ、遮蔽物がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部品、部材を交換してください。 ・ 『(P.1) 器機の設置で注意して頂きたいこと』を参照し、原因を解消してください。

■リモコンキーのランプ表示について



※キー付きリモコンの場合



ランプ表示内容	お知らせ内容	対処方法	
赤色で点灯 ☀	ボタンが押され、操作信号が発信されました。	/	
緑色で点灯 ☀	ドアからの通信電波を受信しました。		
緑色で5回点滅 ☀ ● ☀ ● ● ● ●	ボタンが長押しされ、電源がOFFになりました。		
緑色で点灯 (1秒間) ☀ →	ボタンが長押しされ、電源がONになりました。		
赤色で3回点滅 ☀ ● ☀ ● ☀	電池容量が残りわずかになりました。		電池 (CR2032) を新品に交換してください。
赤色で点灯し続ける ☀ →	リモコンキーに異常があります。		リモコンキーを交換してください。

商品仕様

■コントローラーユニット

電源仕様	AC100V 50/60Hz
消費電力	最大：約10W 待機時：約6.5W
出力電圧	DC52V (送電ユニットへ供給)
出力周波数	426MHz
電界強度	70dB μ V/m (参考値)
無線局の種別	特定小電力無線
音量	報知音(大)：約73dB (前方1m) 警報音：約78dB (前方1m)
使用環境温度範囲	-10～50℃
使用環境湿度範囲	20～90% (相対湿度)
保存環境温度範囲	-20～60℃

■ドア側

入力電源仕様	DC5.5V (受電ユニットから制御ユニットへ供給)
出力周波数	426MHz / 135.5kHz
電界強度	70dB μ V/m / 118dB μ V/m (参考値)
無線局の種別	特定小電力無線 / 誘導式無線設備
使用環境温度範囲	-10～50℃
使用環境湿度範囲	20～90% (相対湿度)
保存環境温度範囲	-20～60℃
リモコンキー登録数	最大 10個

■リモコンキー、キー付きリモコン

入力電源仕様	DC3V リチウムコイン電池CR2032
電池寿命	約1年 (常温20℃ 操作：10回/日)
出力周波数	426MHz
電界強度	63dB μ V/m (参考値)
無線局の種別	特定小電力無線
使用環境温度範囲	-10～50℃
使用環境湿度範囲	20～90% (相対湿度)
保存環境温度範囲	-20～60℃

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎0120-126-001 FAX.03-3638-8447

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は

旭トステム外装(株)サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-413-433 FAX.☎0120-413-436

<http://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL公式サイトまで

<http://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記公式サイトからご確認ください。

取説番号	MAM-704E	事業所コード	ZZB2	2017.09.01 発行
------	----------	--------	------	---------------

